

1 調布市の紹介

○概況：調布市は、東京都のほぼ中央部に位置し、古くから五街道のひとつである甲州街道の宿場町として栄え、人や物、情報の交流拠点の役割を果たす中で、昭和30年4月に調布町と神代村が合併して誕生いたしました。新宿駅から特急で15分と、都心に近接し利便性が高いという立地条件を有するとともに、武蔵野の面影を残す深大寺周辺や多摩川などの豊かな自然が調和したベッドタウンとして発展してまいりました。現在（平成23年8月1日現在）の人口は、約22万2千人です。

○観光スポット：北部には、深大寺そばで有名な緑豊かな古刹「深大寺」や都内最大の植物公園である「神代植物公園」があります。南部には、市民の憩いの場である多摩川が流れており、夏に約1万2千発が打ち上げられる調布市花火大会が盛大に開催されます。また、東部には、世界的な建築家である安藤忠雄氏が設計した建物が道路沿いに連なっている通称「安藤ストリート」があり、その一角にある「せんがわ劇場」は市民への文化発信地となっています。西部には、離島航空路線の拠点である調布飛行場とJリーグFC東京のホームグラウンド「味の素スタジアム」があります。

また、昨年 NHK 連続ドラマ「ゲゲゲの女房」の大ヒットにより、全国から多くの方々から調布市にお越しいただいております。昨年5月、市内外からの観光客を「おもてなし」するために、観光案内所「ぬくもりステーション」を京王線調布駅北口の近接地にオープンしました。調布市の観光案内のほか、「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である水木しげるさん（調布市名誉市民）の展示コーナー、FC東京ブース、調布市の物産販売、さらには調布市初の間取「皇風（きみかぜ）」関のコーナー等がありますので、調布にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

○産業：市の特色ある産業としては、映画産業があります。調布はかつて「東洋のハリウッド」と呼ばれ、日本の映画制作の中心的役割を担っていました。現在でも市内には大手撮影所を始めとする数十の映像関連企業が存在し、映像文化の一大集積地となっています。市では、毎年3月に古今東西の名作の上映する「調布映画祭」や次代の映画人を養成するための「高校生フィルムコンテスト」などを開催しています。また、8月には日本最大の子どもたちの国際映画祭である「キンダー・フィルム・フェスティバル」を開催し、国内外から多彩なゲストを迎え、「映画のまち調布」を大いにアピールしています。

○これからの調布市：

1 京王線立体交差事業：京王線調布～国領間の約3.7kmを地下化することにより、交通の円滑化を図ります。分断されていた市街地の一体化による都市の活性化を目指し、さらに駅周辺地区の整備を行うことで、新たな都市空間が創造されます。工事は順調に進んでおり、2012年度には地下化され切り替えが完了します。

2 スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）

平成25年開催の多摩国体では、市内にある味の素スタジアムがメイン会場となり、開会式・閉会式が催され、サッカー競技、陸上競技の会場としても使用されます。また、国体開催を機に、スタジアム西側の都有地に「武蔵野の森総合スポーツ施設」が整備されます。

2 東日本大震災での被災地支援と震災対応

～調布市「東日本大震災に関する対応状況」より抜粋～

1 東日本大震災による調布市内の被害状況

調布市及び調布消防署に通報があり、巡回等により確認した被害状況（いずれも軽微な被害であり、関係機関が対応）

市内の公共施設における被害状況

●調布市本庁舎

1 議会棟及び庁舎棟における各階全般にわたる被害

天井材のはがれ、壁面のひび、タイル・モルタルの浮き、ガラスの破損

2 上層階（5階以上）の被害

エキスパンション・ジョイント（棟間伸縮継手）、防火扉、照明器具の破損

●文化会館たづくり：ロビー大理石壁面にひび割れ発生

●総合体育館：プール観覧席壁面他数箇所にひび割れ発生

●総合福祉センター：壁面にひび割れ発生

2 避難所の開設状況

地震発生により京王電鉄等の公共交通機関が不通となり、調布駅周辺に帰宅困難者が滞留したこともあり、数箇所の避難所を開設しました。

1 開設した避難所：合計4か所（小学校体育館3校、ホール1か所）

◎京王線が不通のため駅前滞留者を対象に、駅に近い避難所を開設した。

3か所・・・調布駅（第一小学校、グリーンホール）、つつじヶ丘駅（滝坂小学校）

◎高層住宅（くすのきアパート11階建）からの避難者のための避難所開設

避難の理由：エレベーターの停止、部屋の散乱・居住の不安等で避難

1か所・・・国領小学校

2 避難者数

避難所	最大避難者数	宿泊者数		避難所対応職員数	使用物資
		PM12時頃	AM6時		
・グリーンホール 開設 18:42 閉鎖 8:00	800人	300人	200人	30人 交替要員 30人	アルファ米 600食、毛布 200枚、水 36本（2ℓ）紙コップ
・第一小学校 開設 16:00 閉鎖 8:00	270人	130人	40人	14人 交替要員 13人	アルファ米 200食、毛布 180枚、水 24本（2ℓ）紙コップ アルミマット 160枚、レジャーシート

・滝坂小学校 開設 16:00 閉鎖 8:00	64人	64人	57人	12人	アルファ米 150食, 毛布 100枚, アルミマット 40枚
・国領小学校及び金子団地集会所 開設 16:00 閉鎖 8:00	79人	15人	11人	10人	アルファ米 50食, 毛布 60枚, 体育館用マット
	20:50 金子団地集会所に移動				
総合福祉センター 開設 17:00 閉鎖 8:00	8人	8人	8人	8人	寝袋, 毛布, アルファ米, スープ, 菓子パン
計	1,221人	517人	316人	117人	

グリーンホールの小ホールは、滞留者が16時頃には利用していた。国領小は午後8時50分に閉鎖し、宿泊者は地元の金子団地集会所へ移動した。

◆交通機関について

- ・京王線は同日午後10時30分から順次運転開始、深夜も運転。
- ・JR各線は翌日午前6時運転開始

3 避難者の受入・調布市災害支援ボランティアセンターの設置

(1) 緊急避難所開設

東京都は、味の素スタジアム（調布庁舎）において、福島原子力発電所事故による避難者等の緊急受入れを行いました。→ 5月22日（日）に閉鎖

- 避難者数：3月20日（日）に最大197人（男92人，女105人）
- 地域ボランティア等の炊き出し：自治会・JC等各種団体が実施（3月21日から4月24日まで）

(2) 調布市災害支援ボランティアセンターの設置

平成23年3月23日、調布市社会福祉協議会は、調布市との協定にもとづき、被災者の生活をサポートするため調布市被災者支援ボランティアセンターを味の素スタジアム（調布庁舎）内に開設しました。

このセンターは、市民ボランティア、社会福祉協議会職員、市職員（福祉健康部職員）が対応し、市民や市内事業者の支援物資や炊き出し等の受付を行ったほか、ボランティアスタッフにより、リラクゼーションルーム、子ども用のプレイルーム、学習室等をオープンし、避難者の生活支援にあたりました。

味の素スタジアム内の緊急避難所が5月22日をもって、一時避難受入れの役割を果たし閉鎖となったことから、ボランティアセンターもクローズされました。

- 調布市被災者支援ボランティアセンター（042-490-1151）
（ボランティアセンターの主な業務）
 - ・各種相談窓口（住居相談等）
 - ・インフォメーション（地域情報やシルバー人材センター等から提供されたレンタサイクルなどの

サービス利用案内)

- ・ ボランティアの受付 ・ 支援物資の受付 ・ 子ども用プレイルーム ・ 学習室
- ・ 洗濯ボランティア

●ボランティアの仮登録

調布市内や近隣地域における被災地支援ボランティア活動の受入のため、ボランティアの仮登録を行っています。仮登録していただいた方には、味の素スタジアム内の避難者の支援にあたっていただきました。また、味の素スタジアム内の避難者の皆様がすごしやすくなるために、味の素スタジアム周辺の役に立つまちの情報を募集しました。

●調布ボランティア（仮）登録状況

3月30日（午後2時現在）	1,605人
4月4日（午前8時現在）	2,002人
5月27日	2,837人

調布市社会福祉協議会は、味の素スタジアム避難所内に開設したボランティアセンターのサービスを引き継ぎ、調布市にお住いの被災者の皆さまの生活を継続的にサポートするために、「【CHOFU.VC】調布市被災者支援ボランティアセンター」サイトを公開しました。

4 福島原子力発電所事故に伴う放射線に関する情報提供

市内や都内での放射線測定結果、放射線に関する基礎知識、水道水に関すること、農産物の安全に関することなどについて、東京都、専門機関や臨時相談窓口などについて、市ホームページに情報を掲載しています。なお、市として下記の対応をしています。

●空間放射能の測定

- ・ 測定開始日 6月3日（金）～
- ・ 定点測定 10か所
- ・ その他 市立保育園、児童館、小・中学校、公園等
- ・ 測定結果 東京都のモニタリングポストと概ね同レベルであり、健康に影響を与える数値ではないと判断

●プール水の測定

- ・ 深大寺小学校で実施（6月6日採水：不検出） ・ 市民プールで実施（7月1日採水：不検出）
- ・ 公立小中学校（28校）プール放射性物質測定（7月4日採水：不検出）

●測定結果の公表

- ・ 市報臨時号（6月12日発行） ・ 市ホームページ ・ 市報定例号

●コールセンター開設

- ・ 開設期間 6月11日～24日 ・ 受電件数 94件（1日平均で6.7件）

●学校給食の食材の放射性物質検

- ・ 市内保育園、公立小中学校の給食食材の放射性物質測定（7月15日：不検出）